

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 神戸キリスト教女子青年会

1 事業の趣旨・目的

近年、外国人居住者の定住化に伴い外国人児童生徒の増加と外国にルーツを持つ子ども・年少者に対する日本語教育の必要性はますます高まっており、兵庫県内でも大きな課題となっている。最近、そういった子供に対する日本語教育にはさまざまなアプローチがなされ、試されている。中でも生活日本語ではなく、学習言語習得の必要性が認識されるようになり、そこへのアプローチも増えている。

学習言語取得はすでに学校に通う子供たち、また新しく個人的な理由で来日した子供たちにとって、急務を要することである。学校に通えても、授業の内容が理解できず教室に座っているだけの子供や、日本語ができないために高校教育が受けられない子供たちの事例が多く報告される。本来発揮できる、伸ばせる能力を持っているにもかかわらず、その機会が与えられないことは、彼らにとってもまた日本社会にとっても残念なことである。彼らが日本に根付き、誰もが認め合える豊かな多文化共生社会を実現させることは、グローバルな時代にあって日本人にとっても必要なことであるといえよう。

現在、さまざまな形で学習言語習得のための支援がなされている。

学齢期の児童生徒に関しては日本語能力の有無を問わず居住地の公立学校に受け入れが行われ、入学後は教育委員会の援助・配慮の下に学校においてサポーターなどによる支援が行われて来た。だが、生活日本語にプラスされるべき教科学習のための学習言語習得は現場ではなかなか難しい実情が報告されている。それは時間的なこともさきながら、日本語習得のためのノウハウの不足が原因であることが多い。また地域の日本語教室でも年少者を対象にした日本語指導、補習的な教科学習支援の活動が取り組まれ、展開されている。しかし、日常会話ができるようになった場合でも、授業になると読み書きのみならず、聞いたり話したりも十分にできない場合が見られ、学習言語能力の育成・定着が課題とされている。

一方、学齢期を過ぎた15歳から18歳までの外国人生徒の場合は公立学校への受け入れがまだまだ困難であり、受け入れが認められる場合でも厳しい入学試験・編入試験を突破しなければならないのが現状である。その際、一番大きな障害となるのがやはり学習するための日本語能力である。外国人生徒が短期間でどのように日本語能力を身につけるかが緊急の課題となっている。

以上のような例、すなわち学習言語としての日本語が不十分なために学校の勉強につい

ていけない生徒、あるいは来日直後で日本語が全然わからないが、日本の高校への進学・編入を希望している生徒を対象に、継続して短期集中型の日本語初期指導を実施している。この指導では、日本語の構造の理解を核としたコミュニケーション能力、および教科が理解できる学習言語能力の育成を目指した。

学習言語能力の問題は学習者の精神的な面とも大きく関わっている。外国で生活してコミュニケーションが不自由な状態のとき、同じような環境にある子供たち、あるいはその環境にあって困難を克服してきた子供たちとの交流の場が必要であると考えられる。このプロジェクトでは、子供たちの居場所づくりも共に目指している。3週間の学習に続き、月1回の「はっぴいすくーる」がそれに相当する。これにより、友達関係が広がり、情報交換もでき、互いに励ましあうことが可能になることを目指した。

2 運営委員会の開催について

概要

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
平成 23 年 6 月 14 日	神戸 YWCA	水野まり子 斎藤明子 福井武司 小澤恭子 寺内真子 掛橋智佳子	事業の趣旨・目的の 確認、内容検討	日本語教室運営の方針説明 と意見交換・確認、受講生 の募集方法、日程・準備の 検討
平成 23 年 7 月 27 日	神戸 YWCA	水野まり子 斎藤明子 福井武司 小澤恭子 寺内真子 掛橋智佳子	日本語教室の日程・ 準備の確認	教授者・支援者の検討と確 認等、日本語教室運営の検 討・確認
平成 23 年 9 月 15 日	神戸 YWCA	斎藤明子 福井武司 小澤恭子 寺内真子 掛橋智佳子	日本語教室の内容、 運営の総括	成果や問題点、運営、今後 の展望についての意見交換
平成 24 年 3 月 15 日	神戸 YWCA	斎藤明子 福井武司 小澤恭子 寺内真子 掛橋智佳子	はっぴいすくーるの 総括	学習者を継続的に支援する ことの運営、今後の展望に ついて意見交換

写真



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 「学校にはいるための日本語クラス」
- ② 開催場所 神戸 YWCA 学院
- ③ 学習目標
 - ・ 日本語の構造の理解を核として、総合的な日本語能力の獲得を目指す。
日本人生徒とのコミュニケーションができること。
学校の授業に用いられるテキストの日本語が、大体理解できること。
授業における日本人教師の日本語が大体理解できること。
 - ・ 高校進学準備及び意識付け
 - ・ わかる日本語でなされる授業によって、授業への関心を高めること。
 - ・ 日本語のコミュニケーション能力を高め、日本語を母語としない学習者たちの居場所とすること。
- ④ 使用した教材・リソース
 - ・ 主教材・・・『みんなの日本語Ⅰ』『みんなの日本語Ⅱ』
『中級へ行こう』『2nd ステップ』
 - ・ 副教材・・・『ストーリーで学ぶ漢字300』
『トピック25 みんなの日本語Ⅰ』
『みんなの日本語Ⅰ 翻訳・文法解説』、各種ドリル
『クラス活動集103』
小学校漢字『徹底反復新漢字』『やさしい作文』
他に 英語、および数学の問題集
 - ・ 教具・・・絵カード、日本地図、辞書など
 - ・ 参考図書・・・『留学生のための読解トレーニング』『上級へのとびら』ほか

⑤ 受講者の募集方法

・募集チラシ

資料参照

日本語ボランティア教室、兵庫県および神戸市、西宮市国際交流教会
過去の受講者が属していた中学校、高等学校、
教育委員会 など、関係団体に周知。

・神戸新聞 関連記事の掲載

・各団体のメーリングリスト投稿

⑥ 受講者の総数 32 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

[中国 19人 インド 1人 ネパール 1人 シリア 2人 フィリピン 2人

日本(タガログ語) 2人 日本(英語) 1人 タイ 1人 韓国 1人 シンガポール 1人]

⑦ 開催時間数(回数) 70 時間 (全 21 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

⑨ 2011 年度 学校に入るための日本語クラス 報告

日：日本語 国：国語 作：作文

	クラス	内容	宿題等
8/8(月)	日 1	・自己紹介 ・ ____は ____です。／じゃありません。	プリント：1 課～3 課までの語彙、 4, 5 課語彙予習
	日 2	て形・ない形の作り方、文型の復習。	
	日 3	・自己紹介(続) ・名詞修飾 活動集 / 2nd ステップ 新しい語句 読解 内容質問	4 課語彙調べ みんなの日本語トピック 25、名詞修飾箇所印つけ
	国 1	読解練習	
	国 2	1 ひらがな表記チェック	
8/9(火)	日 1	L3：いくらですか。 L4：なんじですか／__は～時から～時まで 時制 L5：私は____ へ行きます。 漢字 ～川	L1～L4 文作りシート 漢字シート
	日 2	・自己紹介+既習文型を使った文 ・L18 ～まえに ・L19 ～たり～たり ～くなります/なりました。	・て形、た形の整理 ・プリント ・トピック読解

		漢字導入	
	日 3	・ 名詞修飾復習 ・ 復習会話	
	作 1	・ 「自己紹介」 ・ ディクテーション（促音長音拗音を中心に）	
	作 2	「自己紹介」	
	作 3	「自己紹介」	
8/10 (水)	日 1	・ ～はえいごでなんですか。 ・ QA やりとり どこへ だれと なんで なんじに なんようびに たん生日は いつ ・ L6. __を__ます。	・ QA つくりシート ・ プリント ・ L5 ことばの整理
	日 2	・ 自己紹介 ・ ていねい体とふつう体のちがい ・ ふつう形の作り方、練習 ・ 漢字	・ プリント ・ トピック 2 5 L 1 3
	日 3	・ 禁止形、命令形 ・ そうです（様態） ～そうに/～そうな V そうにありませ ん ・ 漢字、兄弟・親、主人	・ L 3 3、～形シート ・ ～ようです プリント ・ 2 n d ステップ L 7 問 題
	数 学 中 3 G	・ 超基本的な「数学の日本語」 ・ .一次方程式の解き方 ・ 日本語文を文字を使った式で表す。 ・ 文章題から一次方程式作り、解を求める。 ・ .文章題から連立方程式を作り、解を求め る。	プリント
	数学 中 1/2 G	・ 超基本的な「数学の日本語」 ・ 数と式の計算練習 ・ 文を式で表す練習	プリント
	数学 小 G	・ 分数の約分、通分、 ・ 分数のかけ算	ドリル
8/11 (木)	日 1	L 6. N を V します。 (場所) で N を V します。	・ 漢字シート ・ L6.7 語彙練習シート

		L7. あげます/もらいます/かします/かります <漢字>目口人木イ	・ L7 あげもらいプリント
	日 2	・ ふつう形/ふつう体の会話 ・ ～と思います ・ ～についてどう思いますか。 ・ ～たら（“もしたら” のみ）	
	日 3	・ 意向形・である体 ～がほしいです ～をほしがっています ・ 2nd ステップ L8 漢字：注住春夏秋冬	・ である体プリント ・ 意向形フォーム ・ L12 語彙
	国 1	読解 L6「ミラーさんの毎日」	
	国 2	・ ウォームアップ：共通トピックを探す。 ・ キーワードさがし ・ 読解問題：「頑張るタイム」	
	国 3	・ ウォームアップ：共通のトピックを探す ・ キーワードさがし／指示詞の練習／文の 並べ替え	
8/12	日 1	・ Nは ない A です。 ・ A+N を買います/食べます ・ Nはどうでしたか。 A かったです。 / でした。 漢字：休、本、体、田	・ L7 読み物シート ・ 語彙確認シート ・ 文型練習帳
	日 2	・ 普通形の復習 ・ ーとき、——。 ・ ーと、一。(恒常性のあるもの)	・ トピック 25 L16 ・ ーとき 練習プリント
	漢 1	・ ディクテ(復習) ・ 人、木、休、本、体	・ 漢字練習
	日 3	・ である体の確認 ・ L12 ーて、～ないで、連体中止 ・ 本文読解	・ 読み物 L34 ・ 文法復習シート
	漢 2	・ ディクテ(復習) ・ 暑、寒、晴 10 回終了	

	英 語 A	・みんなの日本語 1~20 和訳/整序英作文 ・英文読解問題「公用語」 ・自己紹介 英→日 ・単語プリント	
8/16(火)	日 1	・L9 わたしはNが好きです／好きじゃありません（きらい） ・どんな_____がすきですか。 ・～さんは_____が上手です／じゃありません。 ・～がわかります/わかりません。 ・_____から(理由) ・約束/用事があります。 漢字第1回（力・男・女・安）	・プリント ・L8 読み物。 ・漢字シート
	日 2	・～とき 復習。 ・もし～たら 復習 / すぐたら ・～んです。 漢字 田・力持ち・男の人・女の人・安い・安全	・トピック 2 5 ・プリント ・「～んです。」接続練習
	日 3	・連用中止 ・中級へいこう L5 ～ということだ。／ そうだ。(伝聞) - 名詞化「さ」名詞修飾 ・漢字(終/紙/低)	・可能形フォーム
	作 1	「わたしの一日」(作文時間 20 分)	作文「月曜から日曜日まで」
	作 2	「わたしの一日」	作文「わたしの一週間」
	作 3	「趣味ー好きなこのと」	作文「私の一週間」
8/17 (水)	日 1	L9 ・わたしは__がすきです/じゃありません ・～さんは__じょうずです/じゃありません ・__がわかります/わかりません ・__から__。 ・どうして__ですか。__から。 ・やくそく/ようじがあります。 ・漢字1回（4）力・男・女・安	・__から__ プリント ・L8 読み物 ・漢字シート

	日 2	・～んです。会話づくり ・可能動詞ⅠⅡⅢの作り方 ・場面会話 ・漢字： 上下中太大	C—1を使った会話づくり L27 可能Vの作り方
	日 3	中級へ行こう L5 (続)	
	数学 中 3 G	1.「数学の日本語」 復習 2.因数分解、二次方程の解き方 3.文章題を二次方程式を作って解く。	
	数 学 中 1/2 G	1.「数学の日本語」の復習 2. 一次方程式の解き方 3. 文章題を作って解く	プリント
	数学 小G	・合同な三角形の作図 ・小学校で出されている宿題、ドリルの続き	プリント ドリル コンパスの使い方の練習
8 / 1 8 (木)	日 1	復習 /ディクテーション L12 ・____は____より____です。 ・____と____と どちらが____ですか。 ____ほうが____です。 ・____で なに/いつ/どれ/だれ/どこがいちばん____ですか。 L13 ____がほしいです。 漢字 小～出	
	日 2	・可能V 復習 ・～ので～ /～のに～ ・漢字 ディクテ 少小入出	・文型練習帳 ・漢字シート
	日 3	・復習クイズ ・中級へ行こう L6	プリント
	国 1	・復習 ・読解問題「トピック 25」 L7	
	国 2	・復習 ・読解トピック L23「コーヒー」	
	国 3	・復習 ・指示詞の練習 2	

		・読解問題 L48 (トピック)「竹取物語」	
8/19(金)	日 1	・復習 L13 ・私は_____を V _____ たいです。 ・_____へ_____に行きます。 ・動詞グループ分け ・語順並べゲーム 漢字 2 回(子～六)	・プリント ・語順並べ復習シート
	日 2	・～ので/～のに 可能形 復習 ・読解 トピック 2 5 L27 ・可能 V ようになりました／～なくなりました。 ・漢字「子～五」	・トピック 2 5 ・プリント
	日 3	・復習クイズ ・N として ・日本語 2nd ステップ L17 オランウータン 受身形、名詞修飾、内容質問	・プリント ・トピック L37 ・週末宿題プリント
	英 A	・みんなの日本語 和訳(21～39、40～59) ・英文読解問題	
	英 語 B	・みんなの日本語 和訳(7～35)	
	英 語 C	・みんなの日本語 和訳 ・並べ替え (1～39)	
8/22(月)	日 1	・て形～てください／～ています ・漢字(子学四五)	・て形の練習プリント ・文型プリント
	日 2	・復習 (変化～ようになります／～なくなります) ・可能形 /受け身形 ・漢字(六七八九十古)	・トピック 25 26 課 ・「受身」フォーム表 ・プリント
	日 3	・復習 ・「N として/について/によって」まとめ ・中級へいこう 7 課「フリーマーケット」読解 ・漢字 (通、回、用、不)11 回終了	・文法プリント ・内容 QA

	数学 中 3 G	・ 基本の図形／多角形の角度／面積 ・ 立体の名称／体積	
	数学 中 12 G	・ 対頂角、錯角、同位角、円周角 ・ コンパス、分度器を使って合同な図形を作図する	
	数学 小 G	・ 対頂角、錯角、同位角、円周角 ・ コンパス、分度器を使って合同な図形を作図する	
8/23(火)	日 1	・ て形復習 ・ ない形 ない形+ないでください／なければなりません／なくてもいいです	・ 読解 14 課 ・ プリント
	日 2	・ 受身形練習 ・ 意向形 ～よう／～ようと思っています ・ 命令形/禁止形 ・ 漢字（百千万円）	・ トピック 25 ・ 意向形プリント ・ 禁止・命令形フォーム
	日 3	・ 復習クイズ ・ 使役形導入、形の作り方、 ・ 漢字(都、京、県)	・ 使役形フォーム ・ プリント
	作 1	「日本の夏」	「YWC A の 3 週間」
	作 2	「日本の生活」	「YWC A の 3 週間」
	作 3	「日本の生活」	「YWC A の 3 週間」
8/24(木)	日 1	・ て形・ない形 ・ L18 辞書形／趣味は____ことです／まえに____／____ができます/できません（能力のみ） ・ 語彙クイズ - 漢字 日・月・明・立	・ よみもの L17 ・ 辞書形プリント
	日 2	・ 復習 意向形・命令/禁止形 ・ L40 疑問詞～か ・ L43 ～そうです（様態） ・ 漢字 日・月・明・立	・ プリント ・ トピックプリント
	日 3	・ 復習クイズ ・ 文法 ～ことになる/N らしい/やっ ・ 2nd ステップ L16 「宮沢賢治」読解 ・ 漢字（民・同・合）	・ プリント ・ 読みものトピック L48

	国 1	・復習 ・読解問題 /カタカナパズル/反対ことば	
	作 2	・縦書き表記 ・読解「ぼくの夏休み」 ・カタカナパズル	
	作 3	・復習 語のかたまり切り/文の並べ替え ・読解「ごみ」・「読むトレーニング」 ・クロスワードパズル	
8/25(木)	日 1	・復習：フォーム確認 ・19 課た形導入 一たことがあります/一たり、一たり 一なりました ・社会科教科書を読む(音読、文節に切る)	・フォーム表 ・読み物 18 課
	日 2	・復習：疑問詞～か/～かどうか A そうです/V そうです ・42 課～のために(目的) ・47 課～そうです(伝聞) 漢字：音楽暗火水	・文型練習帳 ・トピック 25
	日 3	・復習クイズ ・使役形復習→使役形受身導入→作り方 文化初級 36 課読解 QA ・漢字：答、家、場	プリント
	英 A	・兵庫県立入試問題 ・みんなにち和訳(60~79)/英作文	
	英 B	・みんなにち和訳(40~59)	
	英 C	・みんなにち和訳(40~59)	
8/26(金)	日 1	・全チャート V フォーム復習、A 活用確認 ・20 課普通体導入 ・すごろくゲーム ・ポストテスト	
	日 2	・物の授受/恩恵の授受 ・漢字復習	
	日 3	・復習クイズ ・読解 楽しく読もう I ・漢字：部首ゲーム	

「はっぴいすくーる 神戸Y」

開催日	時間	時間数 (時間)	教授者・ 補助者人数	内容
9月10日(土)	13:00～15:00	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	学校情報交換他
10月15日(土)	13:00～15:00	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	漢字パズル、おしゃべり、ジ ェンガー、トランプ
11月15日(土)	13:00～15:00	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	卒業生による高校受験や生 活についての経験談、説明
12月11日(土)	13:00～15:00	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	クリスマスケーキづくり ゲーム
1月14日(土)	13:00～15:00	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	新年会、軽食を食べなが ら歓談
2月18日(土)	13:30～15:30	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	ゲーム、高校合格者に入学 手続きの説明
3月10日(土)	13:30～15:30	2時間	教授者 斎藤 補助者 小澤・小川	近況報告、ゲーム、 大学受験の相談

⑩ 特徴的な授業風景

クラス1 8月12日

1、復習

・語彙カード、助詞カードなどを使って、文作りゲーム。

机の上にカードを並べて「いつですか」「なんですか」「どこですか」「助詞」に分けさせてから、まずそれぞれに違うカードを数枚わたして、ヒントをみんなですいしよに考えてから一文作り、できたら黒板に自分で書かせた。

次は、動詞を自分で選んで、そこからカードを選んで文にした。

最後は、足りない言葉を補って、自分で作った。

※語彙カードは、八つ切りの画用紙を4つに切った大きさに、前日までの語彙を抜粋して書き、裏に英訳を書いたもの。

2、『みんなの日本語Ⅰ』L8 形容詞絵カード、写真を使って形容詞の導入。「おいしい」「おおきい」「優しい」など知っているものもあった。「易しい」は入れないで「簡単な」だけにした。

3、N は、どんな くに／ひと ですか。

「フィリピン」「ネパール」「おとうさん」「おかあさん」「Fせんせい」だけでQA。

4、「い／な形容詞 N を買います」。

QA「どんな～を買いますか。」

「時計」「車」「くつ」「コンピューター」などで練習。

色の形容詞、「高い」「安い」「素敵な」など使用。

5、ディクテーション

朝、復習でゲームをしたこと、また、形の練習としてディクテーション実施。

夫々、わからないところを特定して質問してきた。

6、L12 形容詞過去の導入

場所と食べ物の写真を使って QA 練習。

裏にカタカナで地名を書いておいて読む練習もかねた。

形容詞は、使えるものに限定して練習した。まだ語彙を覚えていないので、絵カードを並べて、カルタのように取って発話。「暑かったです」「寒かったです」「きれいでした」「しずかでした」「にぎやかでした」「おいしかったです」「おいしくなかったです」など。

7、漢字：「ストーリーで覚える漢字」第1回（人、にんべん、木）休、本、体、田

前日の復習と語彙確認をしてから、漢字カードと作成したシートを使って練習した。

宿題：

- ① L7 読み物をリライトした読解シート。
- ② 漢字練習。
- ③ 形容詞シートを使って、ノートに文を書いてくる。

クラス2 8月10日

1、自己紹介(既習文型を使った自己紹介カード使用)

2、L18 「しゅみは なんですか」「__ことです。」

軽く復習をしながら辞書形確認。電子辞書を持っている人に、まず形があるか調べてもらい、辞書を使うために辞書形がいることを伝えた。

3、「__まえに__」日本へ来るまえになにをしましたか。など。

4、L19 た形 絵カードと文型練習帳を使用。た形の口頭練習の後で、ない形、辞書形もあわせて確認した。オーラルの練習にだいぶ慣れたようだ。ただ、Kくんは、「かえらない」→「かえてない」「かえれない」など聞き覚えの形と区別がつかないことがあった。

新語の使用語彙: そうじします、せんたくします、ねむい。その他: デートします、バイク。

宿題：

- ① 文型練習帳 た形・て形整理プリント
- ② トピック読解プリント

5、漢字

「漢字の概念がある組」「漢字の概念がない組」に分かれて勉強。

クラス3 8月8日

1、自己紹介

名前、どこから来たか、どこに住んでいるか、趣味

2、名詞修飾

- ・わたしが_____めいしです。「が」が「の」になることも説明
- ・～が_____名詞は～です。

→出身の町の話、趣味の話で会話をさせた。

- ・これは／ここは _____もの／ところ ほか
クラス活動集103使用。

3、『2nd ステップ』より

- ・新しい語句

読み合わせはせず、わからないものをみんなで考えあうスタイルを取った。

高層ビル、歩行者天国

- ・読解

黙読させ、名詞修飾の部分に印をつけ、隣の人と確認。

名詞修飾に意識のある人と意識のない人で、クラスが二分された。

会話レベルの名詞修飾と、文の中に埋まった名詞修飾への意識の違いが窺われた。

宿題

- ・4 課語彙調べ（語彙のページのみコピー、手渡し）
- ・みんなの日本語トピック 25（訳含む）。名詞修飾の箇所に印をつける。

写真



4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

日本語

このコースでは単に日本語の文法を教えて積み上げるということではなく、逆にこの講

座終了後に学校の教科書が読めるようになるにはこの段階で何をすべきかというポイントから考えてカリキュラムを作成した。

クラス1では、『みんなの日本語Ⅰ』13課～25課をベースに学習した。

- ・ 日本語の構造を意識することは、後に学校の教科書を読む際、重要な要素となると考え、学習者に構造を意識させるための工夫をした。ことば、助詞ごとにカードを作り、並べ替えて文を作る作業をさせた。
- ・ また、読むことに慣れるのを目的とし、クラスの中で文章を読む時間を取った。ここでも構造を意識させるため、分かち書きである教科書をリライトし、助詞にマークをつけさせるなどした。
- ・ 名詞、形容詞、動詞、接続詞などいわゆる文法用語も初級初期の段階から教室内でシェアし意識を高めさせた。
- ・ 学習者3人が皆中国人だったので、中国の簡体字と日本の漢字の違いを意識させる活動も行った。

構造を意識させることに関しては目標は達成できたのではないかと考える。もちろん初級の初期段階のレベルなので、講座終了後にすぐに本が読めるわけではないが、この講座を通じて学習したことが将来的に役に立つと考える。

クラス2は、初級後半レベルの学習者だが、使用した教材の内容によって文型を先行して押さえその後文を読むパターンと、まとまった文章を読んだあと、その中でどんな文型が使われているのか見ていくパターンなど大きく2つの方法でクラスを進めた。

使用した教材は、文章を読み、内容を大きく取ることを目的としているが、それだけでは学校の教科書は読みこなせないなので、より細かな読みができるよう、一文一文の構造を意識させるよう進めた。文型や構造に対する意識は、読むということを通じて大きく高まったと考える。

クラス3の生徒は日常会話はかなりできるものの、文法を分析的に理解していないために、まちがった活用を使ったり、書き言葉の文でよく表れる名詞修飾、受け身などの部分が正確に理解できない状況にあった。文法を意識させ、文を構造的に読んでいく練習をすることで、苦手意識の強い読解がある程度分かるようになり自信がついた。

漢字

基本的に漢字圏の学習者と非漢字圏の学習者を分けて、クラスを二部制にし、教師が二人入って進めようと考えたが、漢字教育の在り方を考えた場合、単なる文字の一種として、書き順を覚え数を増やすことは、読解には役に立たないと考えた。それで、漢字の役割や覚え方、熟語の作り方など漢字の基礎が認識できている学習者とそうではない学習者に分けてクラスを運営した。読解の道具としての漢字の意識ができたように思われる。

作文

作文は、クラスごとに実施した。初回は書く能力を見るために、「自己紹介」をテーマとし、あとの二回は、日本語クラスの語彙と文型を補完することを考えたテーマにした。

クラス1の第1回の作文は講座が始まって二日目、日本語を勉強して二日目にあった。授業の殆どをディクテーションに当て、それぞれ聞き取った言葉を黒板に書かせ、どれが正しいかを考えた。この活動は楽しんでやっていたが、作文ではなく表記の確認といえるだろう。2回目は、前回と比べ書ける文章量がとても増えた。そのことを学習者が実感できたことはよかったと思われる。

クラス2は、学習者間で、文章表記の力や、設問を読みとる力に差があった。QAを手掛かりにして、文「自己紹介」「私の国」「日本での生活」書かせた。設問に答えた後に作文を書いていったので、羅列的な作文からなかなか離れられなかった。学習者ごとに内容をふくらませていくという作業をしたが、十分ではないものの自分の考えを表現するにはどんな内容が必要かなどを考えて書く練習ができた。

クラス3は、活発に発話し、テーマに沿ったインタビューには色々な答えが出た。理解能力があり語彙も豊富だったが、文章を書かせるとそれぞれの問題点が出てきた。会話は活発でも文章を書くとき助詞がぬけ、時制、文型がくずれる生徒や、会話スタイルで書いてしまう生徒が多かった。

三回の作文で、話し言葉と書き言葉のスタイルの違い、時制と助詞に注意すること、そして、接続詞の必要性を認識させることが指導できた。

科目学習は、日本語のレベルではなく科目の実力のレベルでクラスを分けた。

国語

クラス1は主に読解練習を行った。日本語の時間はオーラルで会話から構造を認識させたが、読解ではその構造を認識しつつ、内容を読み取ることに重点を置いた。構造がきちんと認識されてくると、大意取りもできてくる。語彙は、当然のことながら、生活日本語を使っている学習者ほど、応用ができていた。

クラス2の読解練習では質問文への解答の書き方などを学んだ。よくできる人も含めて全員、答えはあっても、質問文にあった正しい答え方ができなかった。それを意識するようにしたが、読む作業だけで手いっぱい学習者もいた。

1, 2クラスは日本語そのものの問題もあり、日本語教材から選ぶしかなく、あまり「国語」的なことはできなかった。

クラス3は、指示語の練習、並べ替えなどのスキルを通して、読解練習を行った。

英語

英文読解問題の内容はよく理解できるが、日本語力の不足のために正確に訳せない学習者が多くみられた。日本語の作文と同様、学んだ文法を組み合わせ文を作る練習を行った。この練習方法が身につけば、日本語力の発達にしたがって英訳の力も伸びるだろう。

数学

数学のことは日本語で知ることから始め、1次方程式や図形など数学そのものの学習に入った。学習者によって、数学の力は十分持っているが、数学の用語や文が日本語で読めて理解できな

いたために問題ができない場合、逆に数学のことはよく知っているが、数学そのものの学習が不足なケースとに分かれていた。

② 学習者の習得状況

学習者は出席率もよく、毎日の勉強が楽しいといった様子が見えてきた。楽しさの中には、わかる勉強ができるということ、また、仲間ができたということがあげられる。

クラス1では、日本語の授業において、日本語の構造を意識させることを大きな目的に据えた。これに関しては目標は達成できたのではないかと考える。もちろん初級の初期段階のレベルなので、講座終了後にすぐに教科書がすべて読めるわけではないが、この講座を通じて理解への手がかりを知ったことは、将来の学習に大いに役に立つと考える。

クラス2では、講座開始当初はとても消極的だった中国人学習者が、途中から活発にクラス参加をするようになった。これは日本の学校では授業内容についていけず、消極的にならざるを得ないが、この講座では自分のレベルに合った内容の授業が受けられるので、それに気がついた後、積極性が増したのではないかと考える。授業は、より正確に細部にわたって読み取るために、一文一文の構造を意識させるよう進めた。文型や構造に対する意識は、読む作業を通じて大きく高まったと考える。

クラス3では、文法を意識させ、文を構造的に読んでいく練習をすることで、苦手意識の強い読解がある程度分かるようになり自信がついた。

3 クラスを通じて、漢字の授業により、読解の道具としての漢字の意識ができたように思われる。また数学では、数学で主に使われる用語を学びつつ、問題を解く練習をしたが、用語と問題指示の言葉がわかればある程度解けるようになっていった。英語では、英文和訳が問題になる。日本語力がないと、意味がわかっていても和訳できない。しかし、日本語で習った文法・語彙のみで訳す練習を行ったところ、和訳のこつがのみこめ、性格な語順でやさしい日本語に訳すことができるようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

今年度は早い時期に昨年度の倍近くの人数の応募があった。これは神戸YWCAの「学校にはいるためのクラス」事業が、学校やボランティア教室、県や市の教育委員会に広く周知されてきた結果だろうと思われる。

この14日間、生徒たちはYWCAに通うことが楽しそうであった。それは欠席が少なかったことにも表れている。生徒たちは表情が明るくなり、学習への意欲を示した。学習のおもしろさを感じたことは大きな成果である。

これに続く「はっぴい・すくーる」（月1回の居場所づくりのための活動）での参加者も多かった。14日間できあがった仲間意識がその後の7か月引き継がれ、何でも言い合える関係が深化する場所となっている。また、「はっぴい・すくーる」は、引き続き学習の支援

がほしい生徒に助言する機会にもなった。

これらの結果は、このようなタイプの日本語教室に大きなニーズと役割があることをはっきり示しているといえるだろう。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

生徒の多くは、各ボランティア教室、学校、国際交流協会などから紹介されて参加した。ボランティア教室では、週 1 回の学習に限られるが、自由時間の多い夏休みに毎日学習できるメリットを考えてのことだと思われる。ボランティア教室からのその生徒の学習に関する情報も得て、そこと提携した形で、生徒たちの学習が進められた。また、学校の担当教師からの紹介では、学校の授業での様子も参考にできた。このように、ボランティア教室、学校との提携は一人一人の生徒にとって意義のあるものだったと言えよう。

兵庫県日本語ネットワークの実務者会議等で、準備や進行状況を報告・協議してさまざまな協力が得られたことも大きな助力となった。また子ども多文化共生センターの協力で同 HP に受講生募集チラシがアップされたことも募集に効果があった。

⑤ 改善点、今後の課題について

a. 現状

今年度の改善点が以下の通り。

漢字は、漢字圏出身者と非漢字圏出身者に分けるよう考えていたが、漢字圏であっても日本語での漢字の使われ方の認識がない生徒には、改めて漢字の役割を認識させる必要が生じた。反対に非漢字圏でも、上記の認識がわかっている場合は、積み上げの方向に進めた。

漢字の役割とは、単に読みや書き順を覚えることにとどまらず、意味の理解から始まって組み合わせによる熟語の理解、およびそれをヒントに読解につながるスキルである。

また、日本語の基礎部分を学習するに当たり、『みんなの日本語Ⅰ』を使用した。が、学校で学ぶ教科書や入試科目を観察すると、そこでの使用頻度は必ずしも日本語テキストと一致しているわけではない。また、使用頻度の高いものがいくつか見られ、その比重は日本語での取り上げ方とは異なる。そこで、それらポイントとなる文型(例:名詞修飾、受け身文など)を重点的に取り上げて練習した。

b. 今後の課題

日本語力がすべての学科の実力の伸びを左右することがますますはっきりしてきた。いかにして効果的に短い期間で日本語力を伸ばすか、がやはり大きな課題となる。今までは既存の日本語教材を主に使ってきたが、より早く学校の教科書に近づけるためには新しく編纂された教材を作り上げることが急がれる。

c. 今後の活動予定、展望

上記の課題から考えて、神戸YWCAでは今年度「国語・日本語研究会」を立ち上げた。小学校 5

年以上中学2年までの各科の教科書を日本語の側から分析し、文章理解のキーとなる文法が、どの時期に、どのぐらいの頻度で表れているか、調査することから始めたい。構造的に学ぶという特徴を持つ日本語の教え方をベースにしつつ、初級・中級など各レベルの文型や語彙を、どのように導入し定着させるか、といった課題について検討していきたい。それによって、より早く効果的に理解の基礎となる日本語力を身に付けさせることを目指したい。

この講座では後半、「はっぴい・すくーる神戸 Y」と名づけた居場所作りを進めた。これは、このコースで仲良くなった外国人生徒たちが、ともに集い母国語でおしゃべりをし、近況を報告しあうことで、神戸YWCAを彼らの居場所とすることができるというものである。担当した教師たちもそこに集い、学校で生じた問題について、アドバイスができるようにした。さらに、すでにこのコースを昨年終了した学生で、高校に入って勉強している生徒が数人いるが、その生徒たちとも共に交わり、進学や学習方法のアドバイスをしてもらうような関係作りも行った。これらの活動を継続的に続けていきたい。そして将来は、このコース修了生ばかりでなく、同じ境遇にある外国人生徒も参加できるような形にしていきたい。